

鉄鋼副原料 フェロバナジウムに“暗雲”

ロシアーウクライナ情勢が緊迫化
コヤオーストリアからフェロバナジウムを輸入している。チェコでは中間原料の在庫がまだあるとみられ、今のところ供給が滞る事態とはなっていない。ただ、長期化すれば供給に影響が出るのは必至。関係者は先行きの動向に神経をとがらせている。

ロシアでは、ロシア産原料の不買運動が広がりを見せており、今後、チェコなどでの生産に影響が出かねない事態となっている。

バナジウム純分ベースでは、ロシアが世界シェアの2割弱を占めており、ロシアの供給動向は世界的な関心事ともなっている。トマテリアルジャパンの松村洋・合金鉄部部長」といった見方が強まっている。

ウクライナ情勢の緊迫化 チェコなど産地に影響大

鉄鋼業界、供給動向を注視

フェロバナジウムのスポット価格は、ロシアが軍事介入して以降、急激に値を上げている。足元では65ドル（純分・キログラム当たり価格）まで上昇、供給懸念が顕在化して以降、1・5倍の水準に跳ね上がった。市場では「足元では調達への影響は出ていないが、高値警戒感は当面続く」（アドバンス

日本の特殊鋼メーカーなどもチェコしている。